

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	公立高校での教員経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	4	生物 ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	4/11(木)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/16(火)	4	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/18(木)	3	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/23(火)	4	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/25(木)	3	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	4/30(火)	4	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/7(火)	4	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/9(木)	3	生物 5 遺伝(1)	
10	5/16(木)	3	生物 5 遺伝(2)	
11	5/21(火)	4	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/23(木)	3	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/28(火)	4	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/30(木)	3	化学 生物のまとめ	
15	6/4(火)	4	化学 1 物質の構成・化学結合(1)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/6(木)	3	化学 1 物質の構成・化学結合(2)	
17	6/13(木)	3	化学 2 周期表(1)	
18	6/18(火)	4	化学 2 周期表(2)	
19	6/20(木)	3	化学 3 物質の状態	
20	6/25(火)	4	化学 4 化学反応(1)	
21	6/27(木)	3	化学 4 化学反応(2)	
22	7/2(火)	4	化学 5 酸・塩基(1)	
23	7/4(木)	3	化学 5 酸・塩基(2)	
24	7/9(火)	4	化学 6 酸化・還元(1)	
25	7/11(木)	3	化学 6 酸化・還元(2)	
26	7/16(火)	4	化学 7 金属の性質	
27	7/18(木)	3	化学 8 気体の製法と性質(1)	
28	7/23(火)	4	化学 8 気体の製法と性質(2)	
29	7/25(木)	3	化学 化学のまとめ	
30	7/30(火)	4	前期末試験	

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	竹野 富之
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	2008.4～ 名城大学理工学部 非常勤講師(文化人類学・アジア文化論) 国立鈴鹿高等専門学校 非常勤講師(欧米文化論・社会学) 2019.4～ 中部大学国際関係学部 非常勤講師(東南アジアから学ぶ)				
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	1	ガイダンス 世22 中国史①／世23 中国史②	
2	4/9(木)	4	日11 近世1(安土桃山時代) 日12 近世2(江戸時代1)	
3	4/15(水)	1	世24 中国史③ 世25 中国史④	
4	4/16(木)	4	日13 近世3(江戸時代2) 日14 近世4(江戸時代3)	
5	4/22(水)	1	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
6	4/23(木)	4	日15 近世5(江戸時代4) 日16 近世6(江戸時代5)	
7	4/30(木)	4	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
8	5/7(木)	4	日17 近世7(江戸時代6) 日18 近代1(明治1)	
9	5/13(水)	1	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
10	5/14(木)	4	日19 近代2(明治2) 日20 近代3(明治3)	
11	5/20(水)	1	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
12	5/21(木)	4	日21 近代4(明治4) 日22 近代5(大正)	
13	5/27(水)	1	世6 近代ヨーロッパ① 世7 近代ヨーロッパ②	
14	5/28(木)	4	日23 近代6(昭和1) 日24 近代7(昭和2)	
15	6/3(水)	1	世8 近代ヨーロッパ③ 世9 市民革命①	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験)	80 %

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/4(木)	4	日25 現代1(戦後1) 日26 現代2(戦後2)	
17	6/10(水)	1	世10 市民革命② 世11 市民革命③	
18	6/11(木)	4	日30 文化史4 日31 文化史5	
19	6/17(水)	1	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命	
20	6/18(木)	4	日32 文化史6 近現代のまとめ	
21	6/24(水)	1	世14 19～20Cのヨーロッパ① 世15 19～20Cのヨーロッパ②	
22	6/25(木)	4	日1 古代1～日3 古代3	
23	7/1(水)	1	世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会	
24	7/2(木)	4	日4 古代4～日6 古代6	
25	7/8(水)	1	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦	
26	7/9(木)	4	日7 中世1(鎌倉時代初期) 日8 中世2(鎌倉時代中期以降)	
27	7/15(水)	1	世20 戦後と冷戦のはじまり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳	
28	7/16(木)	4	日9 中世3(南北朝～室町初期) 日10 中世4(室町中期以降～)	
29	7/22(水)	1	世1～5 古代～中世ヨーロッパ	
30	7/27(月)	1	まとめの授業	

開講年度	令和 6 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川靖洋・董 信子
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)			単位数	4単位
授業内容	前期はビジネスマナーおよび面接対策・人との接し方、後期は面接対策・自己分析を行う。				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。また、自己分析により、自分をより深く知り、自己PRにつなげられるようになる。				
担当教員 実務経験	董：客室乗務員として国際線に勤務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。 長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(木)	1	自己分析（自身の長所・短所等） 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/18(木)	1	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/25(木)	1	第一印象に必要な5要素 挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	5/9(木)	1	第一印象に必要な5要素 表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/16(木)	1	第一印象に必要な5要素 立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/23(木)	1	第一印象に必要な5要素 声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	5/30(木)	1	第一印象に必要な5要素 敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/6(木)	1	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/13(木)	1	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/20(木)	1	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/27(木)	1	面接対策 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/4(木)	1	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/11(木)	1	模擬面接 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/18(木)	1	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/25(木)	1	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	25 %	学習成果評価（定期試験）	75 %

開講年度	令和 6 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川靖洋・董 信子
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	8/31(木)	1	公務員試験過去問演習		
17	9/7(木)	1	公務員試験過去問演習		
18	9/14(木)	1	公務員試験過去問演習		
19	9/21(木)	1	公務員試験過去問演習		
20	9/28(木)	1	公務員試験面接対策		
21	11/2(木)	1	公務員試験の振り返り		
22	11/9(木)	1	自己分析		
23	11/16(木)	1	SPI対策		
24	11/30(木)	1	体育祭に向けて		
25	12/7(木)	1	体育祭に向けて		
26	12/14(木)	1	SPI対策		
27	12/21(木)	1	SPI対策		
28	1/11(木)	1	SPI対策		
29	1/18(木)	1	SPI対策		
30	1/25(木)	1	後期末試験		

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (習熟度 A)			担当者名	松井 幸三郎
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(水)	1	ガイダンス I - 1 命題・論理	
2	4/12(金)	2	I - 1 命題・論理	
3	4/17(水)	1	I - 2 暗号・規則性	
4	4/19(金)	2	I - 3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/24(水)	1	I - 3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(金)	2	I - 4 うそと本当の問題	
7	5/1(水)	1	I - 4 うそと本当の問題	
8	5/8(水)	1	I - 5 対応関係	
9	5/10(金)	2	I - 5 対応関係	
10	5/15(水)	1	I - 6 順位・順序(1)	
11	5/17(金)	2	I - 6 順位・順序(1)	
12	5/22(水)	1	I - 8 順位・順序(2)	
13	5/24(金)	2	I - 8 順位・順序(2)	
14	5/29(水)	1	I - 9 比較	
15	5/31(金)	2	I - 10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	判断推理Ⅰ（習熟度A）			担当者名	松井 幸三郎	
学科	短期公務員科		コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感		
16	6/5(水)	1	I－10 手順			
17	6/7(金)	2	I－11 曜日に関する問題			
18	6/12(水)	1	I－12 位置			
19	6/14(金)	2	I－12 位置			
20	6/19(水)	1	I－13 方位			
21	6/21(金)	2	I－14 道順			
22	6/26(水)	1	Ⅱ－ 1 平面図形の分割と構成			
23	6/28(金)	2	Ⅱ－ 2 平面図形の個数			
24	7/3(水)	1	Ⅱ－ 3 立体図形の分割と個数 Ⅱ－ 4 立体の個数			
25	7/5(金)	2	Ⅱ－ 5 立方体の展開図 Ⅱ－ 6 立方体以外の展開図			
26	7/10(水)	1	Ⅱ－ 7 折り紙			
27	7/12(金)	2	Ⅱ－ 8 投影図・見取図 Ⅱ－ 9 さいころ			
28	7/19(金)	2	Ⅱ－10 軌跡			
29	7/24(水)	1	Ⅱ－11 断面図・回転図			
30	7/26(金)	2	前期末試験			

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (習熟度 B)			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4 単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(水)	1	ガイダンス I－1 命題・論理	
2	4/12(金)	2	I－1 命題・論理	
3	4/17(水)	1	I－2 暗号・規則性	
4	4/19(金)	2	I－3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/24(水)	1	I－3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(金)	2	I－4 うそと本当の問題	
7	5/1(水)	1	I－4 うそと本当の問題	
8	5/8(水)	1	I－5 対応関係	
9	5/10(金)	2	I－5 対応関係	
10	5/15(水)	1	I－6 順位・順序(1)	
11	5/17(金)	2	I－6 順位・順序(1)	
12	5/22(水)	1	I－8 順位・順序(2)	
13	5/24(金)	2	I－8 順位・順序(2)	
14	5/29(水)	1	I－9 比較	
15	5/31(金)	2	I－10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	判断推理Ⅰ（習熟度B）			担当者名	高橋 佑樹	
学科	短期公務員科		コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画		実施内容・所感	
16	6/5(水)	1	Ⅰ－10 手順			
17	6/7(金)	2	Ⅰ－11 曜日に関する問題			
18	6/12(水)	1	Ⅰ－12 位置			
19	6/14(金)	2	Ⅰ－12 位置			
20	6/19(水)	1	Ⅰ－13 方位			
21	6/21(金)	2	Ⅰ－14 道順			
22	6/26(水)	1	Ⅱ－ 1 平面図形の分割と構成			
23	6/28(金)	2	Ⅱ－ 2 平面図形の個数			
24	7/3(水)	1	Ⅱ－ 3 立体図形の分割と個数 Ⅱ－ 4 立体の個数			
25	7/5(金)	2	Ⅱ－ 5 立方体の展開図 Ⅱ－ 6 立方体以外の展開図			
26	7/10(水)	1	Ⅱ－ 7 折り紙			
27	7/12(金)	2	Ⅱ－ 8 投影図・見取図 Ⅱ－ 9 さいころ			
28	7/19(金)	2	Ⅱ－10 軌跡			
29	7/24(水)	1	Ⅱ－11 断面図・回転図			
30	7/26(金)	2	前期末試験			

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ(習熟度A)			担当者名	岩崎 郁人
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	3	ガイダンス Ⅰ－1 虫食い算	
2	4/15(月)	2	Ⅰ－1 虫食い算	
3	4/16(火)	3	Ⅰ－2 魔方陣	
4	4/22(月)	2	Ⅰ－3 倍数と約数	
5	4/23(火)	3	Ⅰ－3 倍数と約数	
6	4/29(月)	2	Ⅰ－4 整数問題	
7	4/30(火)	3	Ⅰ－4 整数問題	
8	5/7(火)	3	Ⅰ－5 数の性質	
9	5/13(月)	2	Ⅰ－5 数の性質	
10	5/20(月)	2	Ⅰ－6 方程式・不等式	
11	5/21(火)	3	Ⅰ－6 方程式・不等式	
12	5/27(月)	2	Ⅰ－6 方程式・不等式	
13	5/28(火)	3	Ⅰ－7 集合	
14	6/3(月)	2	Ⅰ－7 集合	
15	6/4(火)	3	Ⅰ－8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（習熟度A）			担当者名	岩崎 郁人
学科	短期公務員科		コース	A組	学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/10(月)	2	I－8 割合・百分率	
17	6/17(月)	2	I－9 濃度	
18	6/18(火)	3	I－9 濃度	
19	6/24(月)	2	I－10 対比	
20	6/25(火)	3	I－11 利益	
21	7/1(月)	2	I－12 速さ	
22	7/2(火)	3	I－12 速さ	
23	7/8(月)	2	I－12 速さ	
24	7/9(火)	3	I－13 場合の数	
25	7/15(月)	2	I－14 確率	
26	7/16(火)	3	I－14 確率	
27	7/22(月)	2	II－1 三平方の定理	
28	7/23(火)	3	II－2 円・おうぎ形の面積	
29	7/29(月)	2	II－3 立体の体積と表面積	
30	7/30(火)	3	前期末試験	

<備考>

①テキスト残りの単位について

II－4 角度

II－5 円の性質

II－6 図形の相似

II－7 最短距離

については、資料解釈 I (瀬木)にて実施

②クラス分けについて

上位クラス…担当：岩崎

下位クラス…担当：瀬木とする。1～2か月に1回、週例テストを参考に入れ替えを行う。

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (習熟度B)			担当者名	瀬木・岩崎
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いいずな書店)				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	3	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/15(月)	2	I-1 虫食い算	
3	4/16(火)	3	I-2 魔方陣	
4	4/22(月)	2	I-3 倍数と約数	
5	4/23(火)	3	I-3 倍数と約数	
6	4/29(月)	2	I-4 整数問題	
7	4/30(火)	3	I-4 整数問題	
8	5/7(火)	3	I-5 数の性質	
9	5/13(月)	2	I-5 数の性質	
10	5/20(月)	2	I-6 方程式・不等式	
11	5/21(火)	3	I-6 方程式・不等式	
12	5/27(月)	2	I-6 方程式・不等式	
13	5/28(火)	3	I-7 集合	
14	6/3(月)	2	I-7 集合	
15	6/4(火)	3	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度		令和 6 年度		学期	前期	必修・選択	選択	
科目名		数的推理Ⅰ（習熟度Ⅱ）				担当者名	瀬木・岩崎	
学科		短期公務員科			コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画			実施内容・所感		
16	6/10(月)	2	Ⅰ－8 割合・百分率					
17	6/17(月)	2	Ⅰ－9 濃度					
18	6/18(火)	3	Ⅰ－9 濃度					
19	6/24(月)	2	Ⅰ－10 対比					
20	6/25(火)	3	Ⅰ－11 利益					
21	7/1(月)	2	Ⅰ－12 速さ					
22	7/2(火)	3	Ⅰ－12 速さ					
23	7/8(月)	2	Ⅰ－12 速さ					
24	7/9(火)	3	Ⅰ－13 場合の数					
25	7/15(月)	2	Ⅰ－14 確率					
26	7/16(火)	3	Ⅰ－14 確率					
27	7/22(月)	2	Ⅱ－1 三平方の定理					
28	7/23(火)	3	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積					
29	7/29(月)	2	Ⅱ－3 立体の体積と表面積					
30	7/30(火)	3	前期末試験					

<備考>

①テキスト残りの単元について

II－4 角度

II－5 円の性質

II－6 図形の相似

II－7 最短距離

については、資料解釈 I (瀬木)にて実施

②クラス分けについて

上位クラス…担当：岩崎

下位クラス…担当：瀬木とする。1～2か月に1回、週例テストを参考に入れ替えを行う。

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I (習熟度 A)			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	4	生物 ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	4/11(木)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/16(火)	4	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/18(木)	3	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/23(火)	4	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/25(木)	3	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	4/30(火)	4	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/7(火)	4	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/9(木)	3	生物 5 遺伝(1)	
10	5/16(木)	3	生物 5 遺伝(2)	
11	5/21(火)	4	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/23(木)	3	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/28(火)	4	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/30(木)	3	化学 生物のまとめ	
15	6/4(火)	4	化学 1 物質の構成・化学結合(1)	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I (習熟度 A)			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科		コース	A 組	学年 1年
授業回数	授業日	時限	授業計画		実施内容・所感
16	6/6(木)	3	化学 1 物質の構成・化学結合(2)		
17	6/13(木)	3	化学 2 周期表(1)		
18	6/18(火)	4	化学 2 周期表(2)		
19	6/20(木)	3	化学 3 物質の状態		
20	6/25(火)	4	化学 4 化学反応(1)		
21	6/27(木)	3	化学 4 化学反応(2)		
22	7/2(火)	4	化学 5 酸・塩基(1)		
23	7/4(木)	3	化学 5 酸・塩基(2)		
24	7/9(火)	4	化学 6 酸化・還元(1)		
25	7/11(木)	3	化学 6 酸化・還元(2)		
26	7/16(火)	4	化学 7 金属の性質		
27	7/18(木)	3	化学 8 気体の製法と性質(1)		
28	7/23(火)	4	化学 8 気体の製法と性質(2)		
29	7/25(木)	3	化学 化学のまとめ		
30	7/30(火)	4	前期末試験		

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I (習熟度 B)			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	4	生物 ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	4/11(木)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/16(火)	4	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/18(木)	3	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/23(火)	4	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/25(木)	3	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	4/30(火)	4	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/7(火)	4	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/9(木)	3	生物 5 遺伝(1)	
10	5/16(木)	3	生物 5 遺伝(2)	
11	5/21(火)	4	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/23(木)	3	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/28(火)	4	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/30(木)	3	化学 生物のまとめ	
15	6/4(火)	4	化学 1 物質の構成・化学結合(1)	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅰ（習熟度B）			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科		コース	A組	学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/6(木)	3	化学 1 物質の構成・化学結合(2)	
17	6/13(木)	3	化学 2 周期表(1)	
18	6/18(火)	4	化学 2 周期表(2)	
19	6/20(木)	3	化学 3 物質の状態	
20	6/25(火)	4	化学 4 化学反応(1)	
21	6/27(木)	3	化学 4 化学反応(2)	
22	7/2(火)	4	化学 5 酸・塩基(1)	
23	7/4(木)	3	化学 5 酸・塩基(2)	
24	7/9(火)	4	化学 6 酸化・還元(1)	
25	7/11(木)	3	化学 6 酸化・還元(2)	
26	7/16(火)	4	化学 7 金属の性質	
27	7/18(木)	3	化学 8 気体の製法と性質(1)	
28	7/23(火)	4	化学 8 気体の製法と性質(2)	
29	7/25(木)	3	化学 化学のまとめ	
30	7/30(火)	4	前期末試験	

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得し、公務員として働く基本的な教養を身につける。				
到達目標	公務員試験の教養試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」テキスト編（麻生キャリアサポート） モノグサ（eラーニングシステム）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(水)	3	政治 1 統治機構 三権分立	
2	4/15(月)	3	政治 2 統治機構 国会(1)	
3	4/17(水)	3	政治 2 統治機構 国会(2)	
4	4/22(月)	3	政治 3 統治機構 内閣	
5	4/24(水)	3	政治 4 統治機構 裁判所	
6	4/29(月)	3	政治 5 日本国憲法の基本的性格(1)	
7	5/1(水)	3	政治 5 日本国憲法の基本的性格(2)	
8	5/8(水)	3	政治 6 地方自治(1)	
9	5/13(月)	3	政治 6 地方自治(2)	
10	5/15(水)	3	政治 7 選挙制度(1)	
11	5/20(月)	3	政治 7 選挙制度(2)	
12	5/22(水)	3	政治 8 民主主義の発展	
13	5/27(月)	3	政治 9 各国の政治制度	
14	5/29(水)	3	政治10 基本的人権の尊重 自由権	
15	6/3(月)	3	政治11 基本的人権の尊重 社会権	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/5(水)	3	政治12 基本的人権の尊重 その他		
17	6/10(月)	3	政治13 国際政治と日本(1)		
18	6/12(水)	3	政治13 国際政治と日本(2)		
19	6/17(月)	3	経済 1 経済の仕組み 市場と価格		
20	6/19(水)	3	経済 2 企業の仕組み		
21	6/24(月)	3	経済 3 景気と物価		
22	6/26(水)	3	経済 4 金融と日本銀行の金融政策		
23	7/1(月)	3	経済 5 財政政策		
24	7/3(水)	3	経済 6 為替レートと貿易		
25	7/8(月)	3	経済 7 国際経済との関わり		
26	7/10(水)	3	経済 8 国民所得と経済成長		
27	7/15(月)	3	経済 9 現代日本経済の構造と課題		
28	7/22(月)	3	経済10 経済学史		
29	7/24(水)	3	問題演習		
30	7/29(月)	1	前期末試験		

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I (習熟度 A)			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の文章理解（現代文）の解き方を覚える。文章に登場する語句を覚え、漢字が適切に使えるようにする。				
到達目標	公務員試験の文章理解（現代文）が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	絶対合格シリーズ「文章理解」（麻生キャリアサポート）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	1	実力テスト	
2	4/16(火)	1	要旨	
3	4/23(火)	1	要旨	
4	4/30(火)	1	要旨	
5	5/7(火)	1	文章整序	
6	5/21(火)	1	空欄補充	
7	5/28(火)	1	内容把握	
8	6/4(火)	1	総合問題	
9	6/18(火)	1	総合問題	
10	6/25(火)	1	総合問題	
11	7/2(火)	1	総合問題	
12	7/9(火)	1	総合問題	
13	7/16(火)	1	総合問題	
14	7/23(火)	1	総合問題	
15	7/30(火)	1	総合問題	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I (習熟度 A)			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅰ（習熟度B）			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	（ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の文章理解（現代文）の解き方を覚える。文章に登場する語句を覚え、漢字が適切に使えるようにする。				
到達目標	公務員試験の文章理解（現代文）が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	絶対合格シリーズ「文章理解」（麻生キャリアサポート）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	1	実力テスト	
2	4/16(火)	1	要旨	
3	4/23(火)	1	要旨	
4	4/30(火)	1	要旨	
5	5/7(火)	1	文章整序	
6	5/21(火)	1	空欄補充	
7	5/28(火)	1	内容把握	
8	6/4(火)	1	総合問題	
9	6/18(火)	1	総合問題	
10	6/25(火)	1	総合問題	
11	7/2(火)	1	総合問題	
12	7/9(火)	1	総合問題	
13	7/16(火)	1	総合問題	
14	7/23(火)	1	総合問題	
15	7/30(火)	1	総合問題	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I (習熟度 B)			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1 年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性 I			担当者名	漆畑 貴久
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	作文試験において合格基準を満たす作文が書けるようになる				
担当教員 実務経験					
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(水)	2	適性試験 作文の書き方・作文の基礎知識	
2	4/17(水)	2	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/24(水)	2	適性試験 仕事をする上で最も大切だと思うこと	
4	5/1(水)	2	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
5	5/8(水)	2	適性試験 コロナ禍を経験し、自分が変わったこと	
6	5/15(水)	2	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	5/22(水)	2	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	5/29(水)	2	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/5(水)	2	適性試験 は氏かつ信頼される公務員に入切なし	
10	6/12(水)	2	適性試験 公務員の職務に生かせる自分の長所	
11	6/19(水)	2	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	6/26(水)	2	適性試験 あなたの考える理想の職場	
13	7/3(水)	2	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/10(水)	2	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/24(水)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈 I			担当者名	瀬木・山田
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/12(金)	3	適性検査① ガイダンス	
2	4/19(金)	3	適性検査② Ⅲ－1 指数	
3	4/26(金)	3	適性検査③ Ⅲ－1 指数	
4	5/10(金)	3	適性検査④ Ⅲ－2 増加率	
5	5/17(金)	3	適性検査⑤ Ⅲ－2 増加率	
6	5/24(金)	3	適性検査⑥ Ⅲ－3 割合	
7	5/31(金)	3	適性検査⑦ Ⅲ－4 実数	
8	6/7(金)	3	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/14(金)	3	適性検査⑨ Ⅱ－4 角度	
10	6/21(金)	3	適性検査⑩ Ⅱ－4 角度	
11	6/28(金)	3	適性検査⑪ Ⅱ－5 円の性質	
12	7/5(金)	3	適性検査⑫ Ⅱ－6 図形の相似	
13	7/12(金)	3	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/19(金)	3	適性検査⑭ 資料解釈総合問題② 期末試験対策	
15	7/26(金)	3	期末末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	物事に対する思考力を向上させ、瞬時に判断ができるようにする。そこから面接試験等における考え方の一助とする。また、タブレットを導入するにあたりその操作を学び、公務員試験の申し込みやメール確認に生かせるようにする。				
到達目標	自己の強みを理解し、それを公務員試験や社会で活かすための広い視野と表現方法を身につける。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	1	適性試験 公務員試験を知る	
2	4/16(火)	1	適性試験 自己分析 自分の強み・弱みとは？	
3	4/23(火)	1	適性試験 「強み」の活かし方・アピール方法	
4	4/30(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法①	
5	5/7(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法②	
6	5/21(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法③	
7	5/28(火)	1	適性試験 ケーススタディ①	
8	6/4(火)	1	適性試験 ケーススタディ②	
9	6/18(火)	1	適性試験 ケーススタディ③	
10	6/25(火)	1	適性試験 プレゼンで大切にすべきこと	
11	7/2(火)	1	適性試験 1分間スピーチのコツ①	
12	7/9(火)	1	適性試験 1分間スピーチのコツ②	
13	7/16(火)	1	適性試験 感性トレーニング①	
14	7/23(火)	1	適性試験 感性トレーニング②	
15	7/30(火)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	物事に対する思考力を向上させ、瞬時に判断ができるようにする。そこから面接試験等における考え方の一助とする。また、タブレットを導入するにあたりその操作を学び、公務員試験の申し込みやメール確認に生かせるようにする。				
到達目標	自己の強みを理解し、それを公務員試験や社会で活かすための広い視野と表現方法を身につける。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(火)	1	適性試験 公務員試験を知る	
2	4/16(火)	1	適性試験 自己分析 自分の強み・弱みとは？	
3	4/23(火)	1	適性試験 「強み」の活かし方・アピール方法	
4	4/30(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法①	
5	5/7(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法②	
6	5/21(火)	1	適性試験 タブレットの使用方法③	
7	5/28(火)	1	適性試験 ケーススタディ①	
8	6/4(火)	1	適性試験 ケーススタディ②	
9	6/18(火)	1	適性試験 ケーススタディ③	
10	6/25(火)	1	適性試験 プレゼンで大切にすべきこと	
11	7/2(火)	1	適性試験 1分間スピーチのコツ①	
12	7/9(火)	1	適性試験 1分間スピーチのコツ②	
13	7/16(火)	1	適性試験 感性トレーニング①	
14	7/23(火)	1	適性試験 感性トレーニング②	
15	7/30(火)	1	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A組		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習 I			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	適性試験の練習ならびに、前週の授業の確認を目的とした確認テストを実施する				
到達目標	①適性試験が解けるようになる ②確認テストを実施することで、自分の学力定着が図れるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/15(月)	1	適性試験 確認テスト①	
2	4/22(月)	1	適性試験 確認テスト②	
3	4/29(月)	1	適性試験 確認テスト③	
4	5/13(月)	1	適性試験 確認テスト④	
5	5/20(月)	1	適性試験 確認テスト⑤	
6	5/27(月)	1	適性試験 確認テスト⑥	
7	6/3(月)	1	適性試験 確認テスト⑦	
8	6/10(月)	1	適性試験 確認テスト⑧	
9	6/17(月)	1	適性試験 確認テスト⑨	
10	6/24(月)	1	適性試験 確認テスト⑩	
11	7/1(月)	1	適性試験 確認テスト⑪	
12	7/8(月)	1	適性試験 確認テスト⑫	
13	7/15(月)	1	適性試験 確認テスト⑬	
14	7/22(月)	1	適性試験 確認テスト⑭	
15	7/29(月)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習 I			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感	
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I (習熟度 A)			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集(ウイネット)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(木)	4	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/18(木)	4	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/25(木)	4	地学 3 地球の歴史	
4	5/9(木)	4	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/16(木)	4	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/23(木)	4	地学 6 大気と海洋	
7	5/30(木)	4	地学 7 天気	
8	6/6(木)	4	物理 1 力の性質(1)	
9	6/13(木)	4	物理 1 力の性質(2)	
10	6/20(木)	4	物理 2 物体の運動	
11	6/27(木)	4	物理 3 運動量・エネルギー	
12	7/4(木)	4	物理 3 運動量・エネルギー 4 熱とエネルギー	
13	7/11(木)	4	物理 5 波動	
14	7/18(木)	4	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/25(木)	4	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価(平常点)		20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅰ（習熟度B）			担当者名	高橋 佑樹
学科	短期公務員科	コース	A組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(木)	4	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/18(木)	4	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/25(木)	4	地学 3 地球の歴史	
4	5/9(木)	4	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/16(木)	4	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/23(木)	4	地学 6 大気と海洋	
7	5/30(木)	4	地学 7 天気	
8	6/6(木)	4	物理 1 力の性質(1)	
9	6/13(木)	4	物理 1 力の性質(2)	
10	6/20(木)	4	物理 2 物体の運動	
11	6/27(木)	4	物理 3 運動量・エネルギー	
12	7/4(木)	4	物理 3 運動量・エネルギー 4 熱とエネルギー	
13	7/11(木)	4	物理 5 波動	
14	7/18(木)	4	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/25(木)	4	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 6 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート) モノグサ (e-ラーニングシステム)				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/15(月)	4	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/22(月)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/29(月)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	5/13(月)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/20(月)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/27(月)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	6/3(月)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	6/10(月)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/17(月)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/24(月)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	7/1(月)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/8(月)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/15(月)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/22(月)	4	まとめの授業	
15	7/29(月)	4	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %